
CEニュースター

発行：日本アッセンブリーズ・
オブ・ゴッド教団
教会教育部
第5号
2005年10月

変化の激しい時代に

教会教育部長 藤井敬朗

ケンカを止めに入って児童を抱きかかえた教師に、その小学生が「訴えてやる！」と叫んだそうです。ある小学校では「教師が体罰すれば裁判だぞ！」と教師をにらみつける小学生もいたとか。中学・高校生の暴力事件は減ってきているのに反して小学生の暴力事件は急増していると報告されました。もちろん件数では中高生が圧倒的に多いのですが、小学生は今まで少なかったのが、急激に増えたのでその原因追及が求められているのです。

現代の子どもの問題を扱っている方々は、小学生に現れている「荒れ」をどのように理解するか調べています。「なぜ荒れるのか？」ということがなかなかわからないのです。食生活の変化、親の子への関わりの変化、テレビ・パソコン・ゲーム機等のもたらす影響等々色々なことが考えられます。ある報告では「暴力をふるう子どもの多くに、その子に暴力をふるう親がいる」とありました。子どもは親を見て育ちますし、親から受ける影響が大変大きいことは事実です。親の再教育を望む教師もたくさんいます。また、教師の再教育を望む親もたくさんいます。でも、子どもは判断できないので大人から受けたままが表れてくるのです。

教会教育の重要性は今に始まったことではなく、ずっと説かれてきました。教会教育は重要なのです。ただ、「教会教育」とは何なのかと言われると、なかなかすぐには答えられないのが、教会教育部長をしていて恥ずかしいところです。「教会教育部」も「日曜学校部」から名称を変えて2年になります。何が変わったのか、何を変えなくてはいけないのか、そうしたことも問いかけながら委員会を続けてきています。(次頁)

クリスマスプレゼントが当たります！！

2005年11月30日までキャンペーン中

詳しくは6ページをご覧ください。

日本アッセンブリー教団 教会教育部

世の中の変化が激しく、子どもたちさえも変わってきているというこの時代の中で教会は変わっていくのか、変わってはいけないのか、変えなくてはいけないのか、自分自身まだまだよくわかっていません。ただ、変わってきた子どもたちに変わらない福音をしっかりと伝えなければならないと思います。また、子どもだけではなく、子どもたちが見つめている大人を教育することも必要なのでしょう。大きな責任を負わせられたと感じています。

教育は一朝一夕にできるものではありません。かといって子どもたちが成長するのは早いものです。ゆっくり見ていたのでは「遅すぎた」ということにもなりかねません。学校現場に「ゆとりの教育」が導入されて、わずかの間に方向転換されるような、日本の教育界でさえ決定的なものをもてないでいる時代なのです。学校に行けない、行かない子どもも相当数になり、単位制学校をはじめフリースクール、ホームスクール、チャーチスクールの言葉も今では普通に聞くようになったのです。今までになかったものがどんどん増えています。教会も今までになかったことをたくさん体験してきているのでしょう。「今までのような日曜学校ではやっていけない」と判断し、新しい方法を導入したり、研修を重ねられる教会も多いことと思います。

教会教育部と名称が変えられてから、私たち委員も何ができるのか、何をしなければならないのか検討に検討を重ねてきました。変化の激しい時代、子どもたちの状況に合わせてできるだけ早く効率よく情報を伝えたいとの思いから教会教育部のホームページ「こひつじ」を開設しました。まだご覧いただいていない方は是非ご覧ください。さらに、子どものものだけでなく大人の教育にも少しずつ手がけたいと思っています。信徒教育講座は電子化を行いましたので、ホームページに掲載しました(まだ修正の必要など残っていますことをお許してください)。ホームページを見ることのできない方のためには随時CD-ROMでの提供を行わせて頂きます(すでに1枚目は昨年、各教会宛に配布させていただきました)。ホームページについては、次頁にて詳しくご案内いたします。

私たちの働きは微々たるものだと思います。この変化の激しい時代に、ITの時代に、変わらない福音をいかに丁寧に子どもたちに提供できるか検討を重ねていきますが、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の信徒の皆さんのご協力を得ることができればもっともっとすばらしいことができるのです。各教会の教会学校、子ども伝道、キャンプ等々の情報をお送りください。自作の教案、教材、アイデア、イラスト、マンガ、ゲーム、使って良かったものをどんどん分かち合ってください。それで、このホームページを立ち上げましたので、情報をどんどんCE部にお送りください。全ての教会の教会学校がますます祝福されるようにご協力をお願いします。全ての造られた者に福音を伝えたいのです。

主の御名を崇めつつ、皆様の祝福を祈ります。

教会教育部のホームページ紹介

教会教育部 奥田冬樹

昨年から教会教育部のホームページが公開されておりますが、今回はその活用法について紹介させていただきます。

(URL <http://ce.ag-j.or.jp/>)

1. イラストの活用

10月に入り、各教会ではそろそろクリスマスの準備が始まっていることと思います。クリスマスの準備のひとつにポスターやチラシ、プログラムなどの作成があります。子供向けのかわいいカットがほしいなあという時、教会教育部のホームページからイラストを持ってすることができます。



ホームページ左側にあるインデックスの中から、「イラスト」をクリックし、イラストのページを開くと、聖書の場面やクリスマスのイラストを掲載しているページを参照することができます。

イラストが一覧表示されますので、欲しいイラストをクリックして、表示させてください。あとは、それをコピーしてワードなどに貼り付けてくだされば、簡単にご利用いただけます。

ホームページ上のイラストを活用して作成した「こどもクリスマス会」のプログラムのサンプルを以下に示します。

 <h3>こどもクリスマス会 プログラム</h3> <p>12月14日2:00～4:00</p> <p>司会: 鈴木 一朗 先生 奏楽: 松井 秀喜 先生</p>	<p>8.クッキータイム クッキーをたべよう</p> <p>9.お話し 「クリスマスのできごと」 三浦 知良 先生</p> <p>10.さんび 「きよしこのよる」</p> <p>11.こどもチャペルのご案内 毎週日曜日、朝9時からです</p> <p>12.クリスマスプレゼント</p> <p>13.きねんさつえい</p> <p>14.さんび 「シャローム」</p>
<p>1.さんび 「もろびとこぞりて」</p> <p>2.お祈り 宮里 監 先生</p> <p>3.あいさつタイム</p> <p>4.ゲームタイム</p> <p>5.ペーパーサート「クリスマスのできごと」</p> <p>6.さんび 「きみななるイエスは」</p> <p>7.みことばタイム ルカの福音書2:1～21 みんなでおぼえよう ルカの福音書2:11</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原宿アッセンブリー教会 (原宿ジョイフルチャペル) 東京都渋谷区神宮前4-12青山アパート ☎ 03-000-0000</p>  </div>

2. ピクチャーロールの絵の活用

こども向けではなく、もっとリアルな一般向けの絵が欲しいといった場合は、「ピクチャーロール」をご利用ください。

かつて教会で使われていましたピクチャーロールの絵が、聖書のテーマ別に掲載されています。旧約聖書は人物別に、新約聖書は、出来事別に入っています。

たとえば、新約聖書の「イエス様の誕生」を選ぶと、クリスマスに関わる様々なピクチャーロールの絵が一覧表示されます。この中からご利用になりたい絵を選んでいただくと、その絵がホームページ上に表示されます。たとえば「家畜小屋で誕生」を選ぶと下記のような絵が表示されます。



これをコピーしてワードなどに貼り付ければ、簡単にきれいな絵の入ったプログラムや、ポスター、チラシが作成できます。

プログラムやポスター以外にも、パワーポイントなどをご利用になれば、会堂のスクリーンにプロジェクターで降誕のシーンを映し出したりすることもできます。

名刺サイズに印字できるプリンタ用紙に印字すれば、豆カードを作ることができます。

はがきサイズに印字すれば、絵葉書風の案内はがきや、クリスマスカードが作成できます。

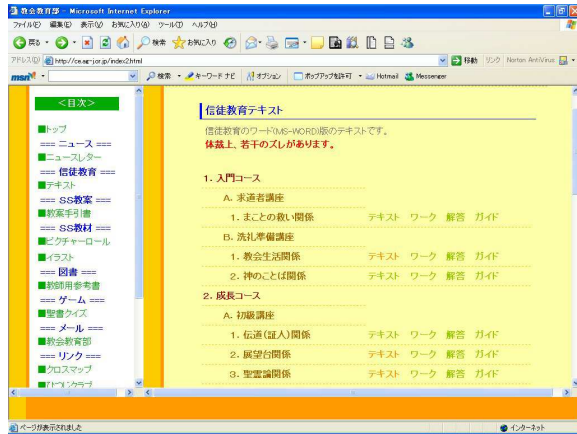
その他、しおりやシール、いろいろと工夫して作成してみてください。素材となる絵は、ホームページ上に各種揃っていますので、あとは皆様の工夫次第です。

もし素晴らしい活用方法などございましたら、教会教育部までどしどしお寄せください。ホームページ上でご紹介させていただきます。

もし素晴らしい活用方法などございましたら、教会教育部までどしどしお寄せください。ホームページ上でご紹介させていただきます。

3. 教会教育テキストの活用

教団の信徒教育委員会の発行していましたが「信徒教育講座」のテキストも、すべて教会教育部のホームページからダウンロードすることができます。



ホームページ左側にあるインデックスの中から、「テキスト」をクリックし、信徒教育テキストのページを開くと、左図のように、各コースの「テキスト」と「ワークブック」と「解答」と「ガイド」が、一覧表示されます。

この中からご利用になりたいものをクリックするとダウンロードしたり表示したりすることができます。(MS-WORD 型式)

ワークブック

教会名		採点	
氏名	年 月 日	点	

第一課 人生の大問題に答える書物

1. 次の問の最も正しいものに○をつけてください。 15点

(1) 人生の大問題に関する解答を得ることのできるのは何ですか。

イ 科学と歴史によって

ロ 聖書によって

ハ 果報は寝て待つことによって

(2) 真理はどのようにして求めるべきですか。

イ 常に疑問をもち疑うところで

ロ 自信と強気と頑張りのところで

ハ 忍耐と謙遜と期待のところで

2. 聖書に関して次の問に答えてください。

(1) 聖書は何冊の書物からなっていますが。

(2) 聖書は約何年間にわたって書かれましたか。

(3) 聖書の記者は約何人ですか。

(4) 聖書の中心は一つですがそれは何ですか。

3. 次のうち正しいものに○をつけてください。

イ 聖書の真の著者はただひとりのお方、神

ロ 聖書は長年の間に離れた所で書いたもので

ハ 聖書は神の語りかけである

ニ 聖書を神の言葉として聴くならば、生活を変える力がある

ワークブック

解答

解答

第一課

1 (1) (2) ハ

2 (1) 66冊 (2) 約1550年間 (3) 40人 (4) 十字架

3 イ ハ ニ

第二課

1 イ

2 イ 啓示 聖書 八神の自己紹介

3 ニ

4 イ 愛の意志 神は愛である

ハ 生ける人格としてわたしたちを愛してくださる神

ニ 人格的關係

4. ホームページのこれから

今後の教会教育部のホームページは、皆様のより役に立つ、使えるホームページを目指していきたく願っております。各教会で作られた良いものを、他の教会でも広く利用できるように流通させて、全教会の教会教育の前進になるよう進めたいと願っております。

個教会において作られたイラスト、視覚教材、ゲーム、クイズ、ポスター、チラシ、教会教育のアイデア、その他を、ぜひ教会教育部までお送りください。その中で多くの教会で活用できそうなものにつきましては、ホームページ上で公開し、流通させていきます。お気軽にどしどし投稿してください。

イラストや絵や写真は、イメージファイルでなくても紙のままで結構です。教会教育部においてイメージスキャナで取り込むことができます。白黒でもカラーでも構いません。動画の場合は、メール添付ではなく、DVDでお願い致します。

- ◆郵送先： 〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 教会教育部 宛
- ◆メール送信先： 「ce@ag-j.or.jp」です。

また、ご意見、ご要望などございましたら、教会教育部までお送りくださいますようよろしくお願い致します。

なお、教会教育部では、ホームページを見てくださった方に、抽選で 20 教会にすぎないクリスマスプレゼントを差上げるキャンペーンを行っています。
どなたでもご応募できますので、ホームページ上の応募方法をご覧の上、11月30日までにとしどしご応募ください。プレゼント内容は、下記の通りです。



- 聖書かみしばい旧約セット(¥6,090) 2教会**
- 聖書かみしばい新約セット(¥6,510) 2教会**
- ミラクルメーカーDVD (¥5,040) 2教会**
- お楽しみ袋 14 教会**

沖縄教区 CS 教師研修会報告

沖縄中央アッセンブリー教会 内村茂子

沖縄教区では子供大会と教師研修会を隔年に行っています。



昨年は県運動公園の大きなドームを借り切って、(沖縄の3月は雨の季節) みんななかよく「思いっきり遊ぼう」のタイトルのもとにお友達、教師ともども、思いっきり賛美をし、みことばをいただいて後、グループに分かれてゲームに興じました。76人のお友達と、教師(中学生以上)、40名、総勢116名の参加で楽しい一日でした。

目的：何とか子供と一緒に遊べる魅力的な教師になることをめざして

タイトル：“めざせ！遊びの達人” <子供の視点に立って>

講師：沖縄の児童伝道の第一人者 城倉翼師(石嶺バプテスト教会牧師)

日時：3月20(日) 午後2時30分から、

会場：那覇アッセンブリー教会

参加：礼拝後、昼食もそこそこに高速を突っ走って、7つの教会から55名集まりました。

内容：体験礼拝

まず、講師の教会で行われている ゲームを取り入れた楽しい礼拝をみんな体験させていただきました。会堂のベンチを全部かたずけて、体育館のような広場を作り、{たけのこはえはえ} {スリッパ送りリレー} などを通して打ち解けあい、優勝チームには特別賞をいただくなど盛り上がり後、ごく自然にみことばをいただき、ティータイム・それから、学びに入りました。

研修内容

1. 教師の基本原則— さしすせそ

さ さんび し 信仰 す 救い せ 聖霊 そ 創造

2. 教師に必要な3つのカー **信仰力 創造力 技術力**
3. 礼拝にこころえー みことばが入っていくように、子供のリズムとテンポに乗る。ゲームの意味と意義を考える。暗唱聖句に工夫を、祈りこむ、司会のあり方、など
4. 教師会の持ち方
5. 楽しいゲームのやり方ー 司会者が楽しく、奉仕者が参加する 前準備をしつかりテンポよく、ルールを覚えて。

その他、キャンプ、ミュージカルなどヒントをいただきましたが、時間切れとなりました。すべてが終了したのは午後6時、なんと3時間半の研修会でしたが、講師の情熱と話術にはまって？ほんのひと時の感じ、体を動かしたなという心地よい疲れが残りました。聖日午後に教区全教会が集まって研修できるのも、一県一教区の沖縄ならではの恵みでした。



教会教育部への献金のお願い

教会教育部の活動は諸教会からのCS献金（原則としてCS席上献金の10分の1が初期の頃から決められていました）によって支えられています。2001年から次第に捧げてくださる教会が増え、現在約80教会が捧げてくださり、献金額も年々上昇しています。ご献金くださっている諸教会のCSに、主にあって心から感謝いたします。

これからもより多くの教会のCSがCS献金にご協力くださいますように、また教団全体のCS活動の活性化のためにさらにお祈りくださいますように心からお願い致します。

今回報告を送って下さった沖縄教区に心からお礼を申し上げます。今後さらに多くの情報を提供していきたいと思っておりますので、各教会からの報告やアイデアがございましたらCE部（教会教育部）までお送り下さい。

日本の子どもたちの救いを祈り、各教会のCSの働きのために祈ります。

教育局長：川上良明 CE部：藤井敬朗 和田佳士 奥田冬樹